

インフォメーション

登録衛生検査所 臨床 宮崎

TEL0985-52-6688 FAX0985-52-8093

一般細菌薬剤感受性検査 MIC セット

「耐性菌情報コメント」に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、弊社、一般細菌薬剤感受性検査 MIC セット(微量液体希釈法)は、耐性菌を検出した場合、「耐性薬剤情報コメント」を検査報告書に表示しておりますが、今回、新たに【カルバペネム耐性腸内細菌】を追加致しました。

是非、ご利用、ご用命頂きますようご案内申し上げます。

謹 白

記

● 新規報告検査項目：

■ 一般細菌薬剤感受性検査 耐性菌情報コメント

◆ 追加報告開始期日：平成 25 年 10 月 1 日（水）実施分より

◆ 報告内容：【カルバペネム耐性腸内細菌】情報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届け出の基準」に五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科感染症が追加されましたので、耐性菌情報コメントにて報告いたします。

◆ 検査概要：

検査項目名	一般細菌薬剤感受性検査
検査材料	各種臨床材料（血液は、血液培養ボトル）
保存方法	冷蔵（血液培養、髄液、淋菌、トリコモナスの場合は常温）
検査方法	微量液体希釈法
基準値	S・I・R及びブレイクポイントMIC値を同時表示
実施料	1菌種 170点 2菌種 220点 3菌種以上 280点
判断料	微生物学的検査判断料 150点
備考	<ul style="list-style-type: none">ご依頼の際は、一般細菌MICセットにチェック下さい。ご希望の薬剤を検査することが可能です。その際は登録が必要となりますので、薬剤一覧表をご参照下さい。病院セットに付きましても、耐性菌コメント情報を表示致します。

■ 耐性菌情報コメント一覧

平成 26 年 10 月 1 日（水）実施分よりカルバペネム耐性腸内細菌を耐性菌情報コメントと致しまして新規追加報告させていただきます。

耐性菌名		耐性菌情報コメント
ペニシリン耐性肺炎球菌 ※ （髄膜炎以外の基準）		PISP（ペニシリン中等度耐性肺炎球菌：PCG 4）を認めます PRSP（ペニシリン高度耐性肺炎球菌：PCG ≥8）を認めます
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌		MRSAを認めます（MIPIC≥4）
VCM耐性黄色ブドウ球菌		バンコマイシンに対し、中等度耐性を示すMRSAを認めます バンコマイシンに対し、高度耐性を示すMRSAを認めます
VCM耐性腸球菌		バンコマイシンに対し、中等度耐性を示す腸球菌を認めます バンコマイシンに対し、高度耐性を示す腸球菌を認めます
多剤耐性緑膿菌（1）		多剤耐性緑膿菌を認めます（IPM≥16、AMK≥32、CPFX≥4）
カルバペネム耐性緑膿菌		カルバペネム耐性緑膿菌を認めます（IPM≥16）
多剤耐性アシネトバクター		多剤耐性アシネトバクターを認めます（IPM≥16、AMK≥32、CPFX≥4）
カルバペネム耐性セラチア		カルバペネム耐性セラチアを認めます（IPM≥16）
多剤耐性腸内細菌（3）		多剤耐性腸内細菌を認めます
カルバペネム耐性腸内細菌		カルバペネム耐性腸内細菌を認めます（IPM≥2、CMZ≥64）を認めます
第三世代 セファロスポリン耐性	大腸菌	第三世代セファロスポリンCAZ耐性大腸菌を認めます
	肺炎桿菌	第三世代セファロスポリンCAZ耐性肺炎桿菌を認めます
ESBL産生菌（2）	大腸菌	ESBL（基質拡張型β-ラクタマーゼ）産生大腸菌を認めます
	肺炎桿菌	ESBL（基質拡張型β-ラクタマーゼ）産生肺炎桿菌を認めます
	クレブシエラ・オシトカ	ESBL（基質拡張型β-ラクタマーゼ）産生クレブシエラを認めます
	プロテウス	ESBL（基質拡張型β-ラクタマーゼ）産生プロテウスを認めます
メタロβ ラクタマーゼ産生菌（4）	緑膿菌	メタロβ-ラクタマーゼ産生緑膿菌を認めます
	セラチア	メタロβ-ラクタマーゼ産生セラチアを認めます
	アシネトバクター・パウマニ	メタロβ-ラクタマーゼ産生アシネトバクターを認めます
	大腸菌	メタロβ-ラクタマーゼ産生大腸菌を認めます
	肺炎桿菌	メタロβ-ラクタマーゼ産生肺炎桿菌を認めます
	クレブシエラ・オシトカ	メタロβ-ラクタマーゼ産生クレブシエラを認めます
	プロテウス	メタロβ-ラクタマーゼ産生プロテウスを認めます

※CLSI M100-S19 の基準を採用しています。

■カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

（1）定義

メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症である。

（2）臨床的特徴

主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こす。健常者に感染症を起こすこともある。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症、カテーテル関連血流感染症、敗血症、髄膜炎その他多様な感染症を起こす。ただし、無症状で腸管等に保菌されることも多い。